

# 事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 26 日 作成  
 20年度決算把握後平成 21 年 6 月 日 作成

事務事業名		ふれあいスポーツ広場開催事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	教育委員会事務局	課長名	高木敏明
	施策	20	生涯学習の推進			所属課	生涯学習課	担当者名	中島 仁
	基本事業	67	学習・スポーツの啓発			所属班	スポーツ振興班	(内線)	1505
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了 <input type="checkbox"/> 21年度から開始		成果優先度評価結果 8 コスト削減優先度評価結果 6
		1	10	6	1	10774			
事業期間		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成14 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)									
【事業の内容】 ・体育指導委員(毎回5名)を中心に行うニュースポーツ教室で毎月第1、第3土曜日午前中2時間、老若男女問わず無料で自由参加できる。 【業務の流れ】 ・毎月の体育指導委員会議で出面(5名)職員1名を決める、土曜日の9時30分ころから準備を行う、受付を行う、参加者にニュースポーツの指導などを行う、12時を境に終了して片付ける、参加回数が10回になった参加者に賞品を渡す。 【主な予算費目】 ・報償費(大会賞品・参加賞)									

## 1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成20年度と同じ	
① 手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO) 体育指導委員の主導により、ヴィーブルのサブアリーナにてニュースポーツ教室を開催した。1年間(18回の開催)で278名の参加があった。また、2回は御代志市民センターで開催した。		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 実施回数 イ 実施場所	回 箇所
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 合志市住民、合志市内企業在勤者		⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 人口 イ	人 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 相互の交流とさまざまなニュースポーツを知るきっかけとなる。		⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 参加者数 イ	人 人
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか) 学習やスポーツに取り組むことの必要性を認識できる。 施設や学習内容を知ることができる。		⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 取り組んでいないが今後取組んでみたいと思う市民の割合 イ	% %

(2) 総事業費・指標等の推移											
		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円								総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限 定 複 数 年 度 の み 記 載)  0          0          0          0
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
	一般財源		千円	49	0	50	0	30	30	30	
	(A) 事業費計		千円	49	0	50	0	30	30	30	
	うち指定経費		千円	0	0	0	0	0	0	0	
	うち時間外、特殊勤務手当		千円	0	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員従事人数	人	3	5	5	6	6	6	6	
延べ業務時間		時間	35	35	50	39	39	39	39		
(B)人件費計		千円	139	139	199	155	155	155	155		
トータルコスト(A)+(B)		千円	188	139	249	155	185	185	185		
活動指標	ア イ	回 箇所	16 1	20 2	23 2	18 2	24 2	24 2	24 2	目 標 合 計 数 計 画  22 年 度	
対象指標	ア イ	人	53303	53909	54518	54518	55124	55732	56281		
成果指標	ア イ	人	未把握	409	415	278	420	425	430		
上位成果指標	ア イ	%	60.8	63.4	62.8	63.1	63.3	63.8			

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
 平成12年スポーツ振興基本計画の制定により体育指導委員協議会でスポーツの普及の必要性と方法を検討した結果、スポーツ未実施者の掘起こし、住民間のニュースポーツによる交流を目的に、平成14年度から開始された。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
 近年は学校のクラスレクリエーションや地域のレクリエーション大会などへも活用のひろがりをみせている。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
 地域の体育委員や、PTA委員に選ばれた人たちが、地区やクラスでのレクリエーション大会を開催する時の種目選定、ルールの習得に來られ評価を得ている。

事務事業名	ふれあいスポーツ広場開催事業	所属部	教育委員会事務局	所属課	生涯学習課
-------	----------------	-----	----------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 意図の相互の交流とさまざまなニュースポーツを知るきっかけとなることにより、結果の学習やスポーツに取り組むことの必要性を認識できる。施設や学習内容を知ることができるに結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 体育指導委員の自主的な活動をサポートし、ニュースポーツを普及することで、個人や地区でのスポーツ活動の推進、更には市民の健康や生甲斐作り、仲間づくりに寄与している事業である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ PR方法の充実により成果向上の余地がある。 参加者の多くが高齢者であるため、交通手段等の関係で市内東部の住民の参加に偏っている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 毎回のごとく楽しみにされて参加される方々が活動の場を失い、ニュースポーツ普及の貴重な機会を失う。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ 類似事業は無いため、他に手段がない。  <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 最少人数で対応している。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 職員は最少人数で対応している。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 現在、無料で実施している。自由参加なので公平・公正であると考えられる。もし、有料化し参加者の減になれば意図と結びつかなくなる。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	有効性については、とても良い事業と考えているが、まだまだ周知されていない。PRに努め、内容共に工夫を重ねていく必要がある。 ・参加者が市内東部の住民に偏りがちなので、ヴィーブル周辺を市民交流ゾーンとすることの住民への浸透が必要である。 ・体育指導委員の主導事業としているので、委員からの要望、知恵を取り入れ、新種目の発掘等の改善が好ましい。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) ・体育指導委員の意見を取り入れてPRに努め、参加者の要望や感想を聴取するなど、内容共に工夫を重ねていく必要がある。 ・開催場所を市内西部にも設ける(市内2箇所)という方法を試したが、ニュースポーツ道具の運搬(大型の道具も多い)や会場の広さの問題など、参加者のニーズに応えられないものが多く、西部会場はヴィーブルサブアリーナが使用できない場合の臨時会場としての使用が難しいと想定されている。	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持					低下			
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持																						
	低下																						
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
・周知の方法、体育指導委員の協力体制、新種目の発掘 ・解決には、PR方法(例えば体育指導委員の主導により参加者からの感想を聴取した広報紙を定期的に作成する)を改善する。																							

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	1	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	4	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )